



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社トスネット
 コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務統轄部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 氏家 仁
 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	5,082	3.2	344	△21.7	406	△13.9	190	△37.9
29年9月期第2四半期	4,923	2.1	440	△6.2	472	△7.7	306	△3.6

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 186百万円 (△41.4%) 29年9月期第2四半期 317百万円 (11.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	40.26	—	—	—
29年9月期第2四半期	64.88	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年9月期第2四半期	7,702	4,829	4,829	62.7	62.7	
29年9月期	7,630	4,761	4,761	62.4	62.4	

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 4,829百万円 29年9月期 4,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	0.3	800	△1.8	850	△3.6	390	△30.1	82.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	4,732,600 株	29年9月期	4,732,600 株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	2,503 株	29年9月期	2,473 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	4,730,125 株	29年9月期2Q	4,730,157 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気の回復基調が続いております。

東北地域における経済に関しても、震災復興需要がピークを終えたものの、経済活動自体は総じて高水準で推移しており、緩やかに回復しております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコストアップ要因等を抱え、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大等、当社グループの中核となる事業の充実を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,082百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は344百万円（前年同四半期比21.7%減）、経常利益は406百万円（前年同四半期比13.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は190百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は4,384百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は142百万円（前年同四半期比28.7%減）となりました。

警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、イベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は2,803百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っております。当部門の売上高は1,193百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけております。当部門の売上高は216百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び人材派遣等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は88百万円（前年同四半期比2.5%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期は0.8百万円の損失）となりました。

(マーリングサービス事業)

マーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。マーリングサービス事業の売上高は342百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は266百万円（前年同四半期比5.9%減）、セグメント損失は20百万円（前年同四半期は19百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ71百万円増加し、7,702百万円となりました。この主な要因は、警備未収入金が46百万円減少したものの、現金及び預金が72百万円及びのれんが46百万円増加したこと等によるものであります。

負債は前連結会計年度末と比べ3百万円増加し、2,873百万円となりました。この主な要因は、一年以内返済長期借入金が220百万円減少したものの、未払消費税等が35百万円、また、長期借入金が159百万円などの固定負債が増加したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末と比べ68百万円増加し、4,829百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が72百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は62.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して72百万円増加し、3,354百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は390百万円（前年同四半期は457百万円の収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額205百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益406百万円、減価償却費41百万円、のれん償却額56百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は92百万円（前年同四半期は7百万円の支出）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出19百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は224百万円（前年同四半期は161百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入による収入が250百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が348百万円、配当金の支払額が117百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえまして平成29年11月14日の「平成29年9月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成30年5月11日に別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,282,033	3,354,857
受取手形及び売掛金	202,013	204,336
警備未収入金	1,042,566	996,195
仕掛品	287	1,783
原材料及び貯蔵品	39,138	34,165
繰延税金資産	44,928	45,439
その他	96,066	91,378
貸倒引当金	△1,042	△1,015
流動資産合計	4,705,992	4,727,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	364,667	355,741
土地	1,300,331	1,300,331
その他	166,773	168,720
有形固定資産合計	1,831,772	1,824,793
無形固定資産		
のれん	406,680	453,017
その他	31,788	29,638
無形固定資産合計	438,469	482,655
投資その他の資産		
投資有価証券	404,818	403,019
投資建物(純額)	5,238	4,968
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,187	3,187
繰延税金資産	45,354	43,287
その他	137,627	153,820
貸倒引当金	△13,809	△13,799
投資その他の資産合計	654,500	666,568
固定資産合計	2,924,742	2,974,017
繰延資産		
開業費	—	1,610
創立費	121	60
繰延資産合計	121	1,670
資産合計	7,630,856	7,702,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	510,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	367,619	146,733
未払法人税等	184,000	179,100
未払消費税等	133,944	169,882
未払費用	652,701	647,164
賞与引当金	80,250	84,380
その他	266,884	294,207
流動負債合計	2,195,399	2,031,467
固定負債		
長期借入金	391,298	551,065
退職給付に係る負債	249,307	253,921
繰延税金負債	4,378	4,428
その他	29,394	32,844
固定負債合計	674,379	842,259
負債合計	2,869,778	2,873,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	3,130,263	3,202,463
自己株式	△741	△773
株主資本合計	4,679,001	4,751,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,472	101,606
退職給付に係る調整累計額	△28,395	△23,672
その他の包括利益累計額合計	82,076	77,933
純資産合計	4,761,077	4,829,104
負債純資産合計	7,630,856	7,702,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	4,923,222	5,082,063
売上原価	3,298,368	3,466,947
売上総利益	1,624,854	1,615,115
販売費及び一般管理費	1,184,404	1,270,337
営業利益	440,450	344,778
営業外収益		
助成金収入	6,453	17,486
受取賃貸料	13,950	15,073
受取出向料	4,236	—
投資有価証券運用益	158	28,854
その他	14,254	10,031
営業外収益合計	39,051	71,445
営業外費用		
支払利息	4,301	4,697
その他	3,174	5,334
営業外費用合計	7,476	10,031
経常利益	472,025	406,192
特別利益		
投資有価証券売却益	37,043	—
固定資産売却益	0	19
特別利益合計	37,044	19
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	509,070	406,212
法人税、住民税及び事業税	212,079	211,682
法人税等調整額	△9,889	4,082
法人税等合計	202,190	215,764
四半期純利益	306,879	190,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,879	190,447

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	306,879	190,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,472	△8,865
退職給付に係る調整額	2,314	4,722
その他の包括利益合計	10,787	△4,143
四半期包括利益	317,666	186,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,666	186,304

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	509,070	406,212
減価償却費	41,771	41,017
のれん償却額	49,912	56,894
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△530	△37
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,920	2,630
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,679	11,273
受取利息及び受取配当金	△3,015	△2,528
支払利息	4,301	4,697
投資有価証券運用損益(△は益)	△158	△28,854
投資有価証券売却損益(△は益)	△37,043	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△19
有形固定資産除却損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	51,128	76,787
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,605	3,477
前払費用の増減額(△は増加)	△1,525	39,975
未収入金の増減額(△は増加)	△1,300	6,169
未払金の増減額(△は減少)	61,206	△3,942
未払費用の増減額(△は減少)	△26,688	△57,368
預り金の増減額(△は減少)	△6,910	792
その他	△2,269	40,510
小計	647,151	597,687
利息及び配当金の受取額	3,015	2,769
利息の支払額	△4,118	△4,772
法人税等の支払額	△188,048	△205,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,999	390,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,631	△1,657
投資有価証券の売却による収入	50,629	—
投資有価証券の払戻しによる収入	18,980	19,556
有形固定資産の取得による支出	△52,606	△19,240
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,815	△72,063
短期貸付けによる支出	△1,400	△820
短期貸付金の回収による収入	125	—
敷金の差入による支出	△1,242	△2,641
その他	△14,675	△15,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,636	△92,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△4,000
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△34,632	△348,441
配当金の支払額	△117,897	△117,948
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,177	△4,443
その他	—	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,706	△224,895
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	288,655	72,824
現金及び現金同等物の期首残高	2,863,407	3,282,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,152,063	3,354,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,220,634	91,163	328,434	282,989	4,923,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,367	5,472	0	3,121	88,961
計	4,301,001	96,636	328,434	286,110	5,012,183
セグメント利益又は損失(△)	200,717	△837	8,210	19,172	227,263

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,263
セグメント間取引消去	213,187
四半期連結損益計算書の営業利益	440,450

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,384,568	88,819	342,457	266,218	5,082,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,893	7,292	-	758	78,944
計	4,455,462	96,111	342,457	266,977	5,161,008
セグメント利益又は損失(△)	142,954	1,726	7,121	△20,514	131,287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	131,287
セグメント間取引消去	213,490
四半期連結損益計算書の営業利益	344,778

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、株式会社アーバン警備保障の全株式を取得し、新たに連結子会社としたことにより、「警備事業」セグメントにおいて、のれんが98,929千円増加しております。